

2019（令和元）年度 第1回苫小牧市美術館博物館協議会

日 時 2019年9月13日（金） 14時00分～15時40分

会 場 苫小牧市美術博物館1階研修室A

出席委員 揚妻委員（委員長）、林委員（副委員長）、居島委員、橋爪委員、菊地委員、
計5名

欠席委員 金田委員、山田委員、大澤委員、石川委員、奥本委員（新任）

事務局 （美術博物館）長谷川館長、武田副主幹、小泉主査、
細矢主任学芸員、江崎学芸員、沖津学芸員、大谷学芸員、
佐藤囑託学芸員

- 1 開会 小泉主査
- 2 館長挨拶 長谷川館長
- 3 新任委員紹介 奥本委員（坂元委員退任後の補欠委員）※当日欠席
- 4 議案（揚妻会長が進行）
 - （1）議案1 平成30年度事業報告について
 - （2）議案2 平成30年度苫小牧市美術博物館自己点検評価について
 - （3）議案3 その他

(1) 議案1 平成30年度事業報告について

事務局から説明。全体的に来館者が増えているが何が影響しているのか？という質問があり、平成30年度は、美術部門と博物部門を複合した展示を増やして、興味関心を惹き付けたところや、リピーターが定着してきたところが、アンケート結果等から読み取れる旨事務局が回答した。また、メジャーな作品の展示に加え、地元ゆかりの作家の作品や地域の歴史を扱った展示会も取り入れ、全体的に客層が広がったことも要因の一つであると付言した。

(2) 議案2 平成30年度苫小牧市美術博物館自己点検評価について

事務局から説明。その後、議長より各大項目ごとに質問・意見を受け付ける旨の提案があった。
・「展示事業」に関しての質問・意見では、絵画作品等の他館との相互貸借が少なくなってきたので、今後はもう少し取り入れてほしい旨の要望に対し、事務局側は市民の要望が多数となれば検討したいと回答した。

博物館常設展示の定期的な更新に関して、美術館側の展示のように他分野の複合的な要素を持ったものを取り入れることはできないか？との質問に対し、事務局側は展示物そのものの更新は(予算的に)制限があるが、次年度以降にアイヌ政策交付金を活用して、2階の「アイヌのくらし」コーナーの展示や表示を変更する計画をしている旨回答した。

・「教育普及事業」については、自然分野に関して、市民の理解、関心が年々薄くなってきて危機的な状況なので、地元のウトナイ湖の特徴を活かした取り組みを、関連部署と連携して行ってほしいとの要望があった。事務局からは、長期的に興味が持続するような自然体験講座等を、学校やウトナイ湖野生鳥獣保護センターなどの関連部署と連携しながら、企画していきたいとの回答があ

った。また、委員からは、自然を含む文化普及と研究・教育の両輪が担えるような、館の運営を行ってほしい旨の付帯した意見が出た。

・「調査研究活動」の項目では、委員より、調査研究計画書の資料がないためどのような計画に基づいて実行していたかが分からない。平成 30 年度の事業報告書の中で、調査研究の具体的な報告が上がっているので、そこに元の計画を付記してほしい旨の要望があり、事務局も承諾した。その他、学芸員の学術成果を評価項目に取り入れるなどして、学芸員がもっと頑張れる体制づくりをするべきとの意見があった。

・「資料の収集・保存方針」については、収蔵資料の管理に関する指標と評価に、何割以上達成した旨の表現があるが、これも元の数値が記載されていなく、正確な評価ができないので簡単な説明付記してほしい。また、例えば3か年計画で 1 年毎に目標を区切るなど、評価指標に目標を設定して、評価シートの表示方法を、もう少し分かりやすくしてほしいとの要望があり、事務局側は改良する旨回答した。

・最後の「管理運営」の項目では、地下の収蔵庫の空きスペースに関する質問があり、事務局側は飽和状態に近い旨の回答をした。委員からは、収集・保存に関しては、一般市民には分かりづらい問題なので、今後は我々委員も本評価シート等を介して必要性を訴え、また事務局側も外部スペースの確保も含めた収蔵計画を策定してほしいとの意見があった。

一方、経営計画について、入館者数や展示会の観覧数の目標値が示されているが、館内自己評価欄に簡単な証拠データを付記してほしいとの意見があり、事務局側も承諾した。また、広報計画についての質問も出たが、事務局側はこの広報計画自体が現実的になじまない施策なので、来年度からの次期3か年実施計画策定時に見直したい旨回答した。委員からはそれも含めて、何でも細かい指標を作ることが、館の利益に繋がるかどうか、今後の検討材料としてほしいとの意見も出た。

・なお、以上の項目以外の全般的な意見・要望としては、今回の評価シートの様式では前年度の評価だけで終わってしまい、次年度に対しての要望や提案を記入する枠がない、また次年度の計画を前もって提示してもらったうえで意見したい旨の意見があったが、事務局側は要望や提案、意見については、今回は自由記載欄に全て記載してほしいとの回答であった。

また、産業分野において、自分たちの仕事場が結果的に世界とどう繋がっているのか、或いはどういう歴史の中で形成されて来たのか、ということについても、次期実施計画に取り入れ、展示においても紹介してほしい旨の意見があった。

(3) 議案3 その他

館長より、二次評価シートの提出締切日について再度連絡があり、また記載終了した委員につきその場で回収を行った。なお、シート回収後に本協議会での議論も参考にして、後日報告書を作成し公表する旨説明した。